取組み内容：インターネットだけじゃない！ ～本から情報を探し出すおもしろさ～

池田市立石橋小学校

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

B - STEP2 , G - STEP2 , N - STEP2

きっかけとねらい

・校内で実施したアンケートの結果、「知りたいことや疑問に思ったことを学校の図書館で調べる」と答えた児童は、全体の３割弱にとどまった。
・中でも、4年生以上の学年でその割合が特に低く、図書館を活用する学習活動が十分に根づいていない実態が明らかになった。
・そこで本実践では、百科事典をはじめとする図書館資料に触れながら、目的に応じて情報を探し出し活用する力を育てることをねらいとした。

つけたい力

【図書館・資料活用の力】
・必要な情報を的確に見つけ、読み取る力
・信頼できる情報源を選び、使い分ける判断力
・紙の資料とデジタルの情報との違いに気付き、使い分けようとする力
【学びに向かう姿勢】
・学校図書館を学習の場として活用しようとする意識
・本から調べる楽しさや達成感を味わう態度
・自分の知りたいことに向かって、学び続けようとする意欲

具体的な取り組みの内容・指導の流れ

４年生の国語科の授業において「はてなシート」（ポプラ社）を活用し、まず自分の疑問を明確にし、それを百科事典でどのように調べていくかを段階的に学習した。「はてなシート」では、「何がわからないのか」「何を知りたいのか」を言語化し、そこからキーワードを抜き出して検索につなげるプロセスを大切にした。百科事典の索引や見出し語の探し方を実際にやってみる活動を繰り返すことで、書かれている情報の中から自分に必要な情報を読み取り、まとめる力の育成をめざした。

取組みを通しての子どもの変容

・「言葉の意味を調べるときは辞書」「広く情報を集めたいときは事典」「最新の情報を調べたいときはインターネット」など、調べたいことの目的に応じて使い分けようとする姿が見られた。
・7月に再度行ったアンケートでは、「知りたいことや疑問に思ったことを学校の図書館で調べる」と答えた児童の割合が10ポイント上昇した。このことからも、情報収集の手段として、「本を扱う」力と意識が育ちつつあることがわかる。
・今後は、ただ使い分けられるようになることにとどまらず、「なぜその方法を選んだのか」といった理由に着目しながら、自らの学び方を選び取る力をさらに高めていきたい。